

Practice #2A

繰り返し文（文法の基礎 1）

課題学習 2 A 1（必須）

課題学習 2 A 2（必須）

課題学習 2 A 3（必須）

課題学習 2 A 4（必須）

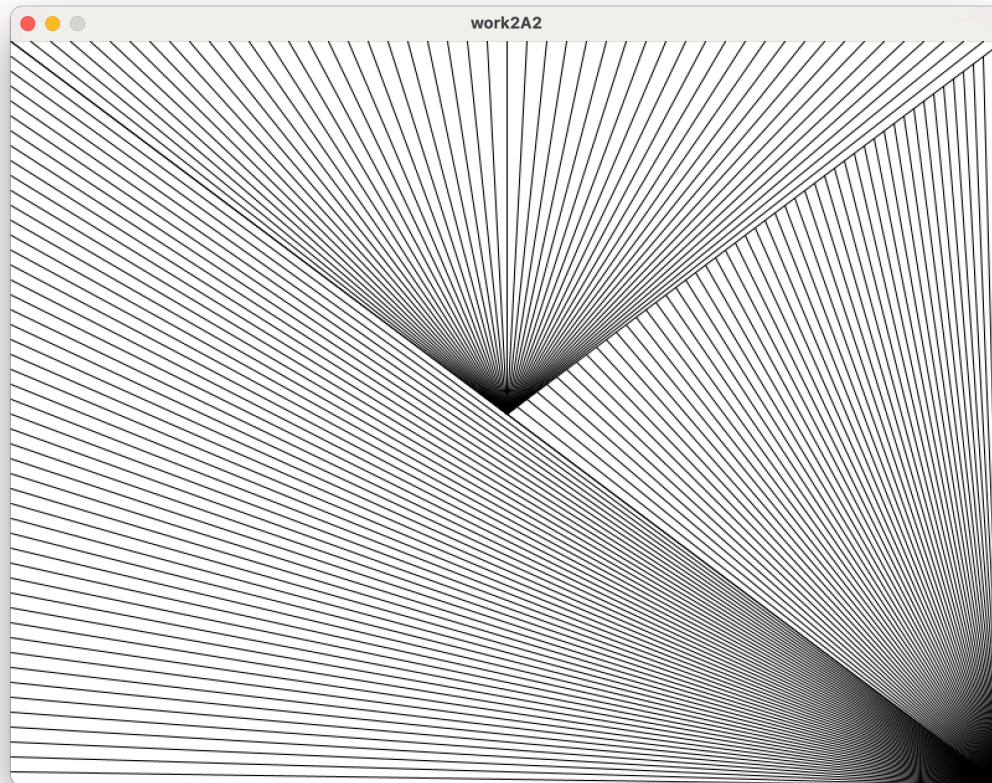
課題学習 2 A 5（任意）

**締め切り
05.22 [木]**

課題2A1,2A2 (必須)

work2A1.pde

FOR文を使って、500 x 500 のサイズのウィンドウの内部に自由に「繰り返しによる図像」を書いてください（フリースローイング）。単純なルールの繰り返しで、複雑な幾何学的イメージを作ることを念頭にしてください。ただし、条件文およびrand関数は用いないこと。

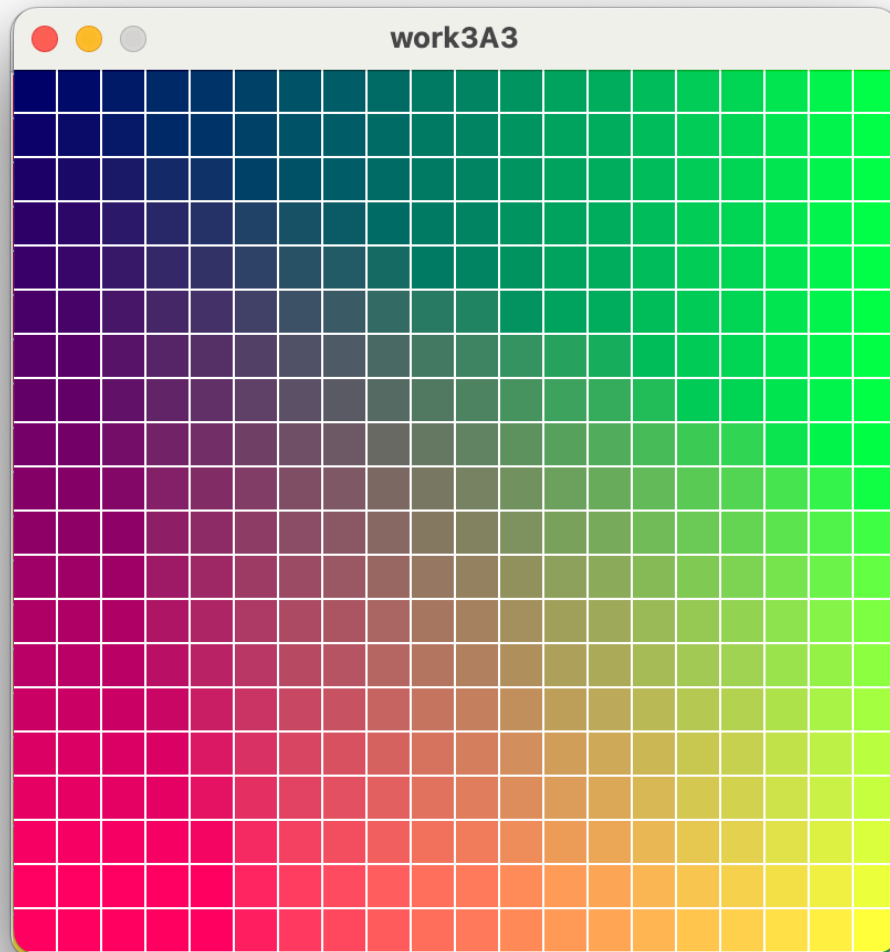


work2A2.pde

左のようなパターンを出力するプログラムを完成させてください。

左辺・上辺・半対角線上の各端点は、一辺を50等分する点とし、合計150本の線を引くようにしてください。ウィンドウのサイズは自由とします。

課題3A3 (必須)

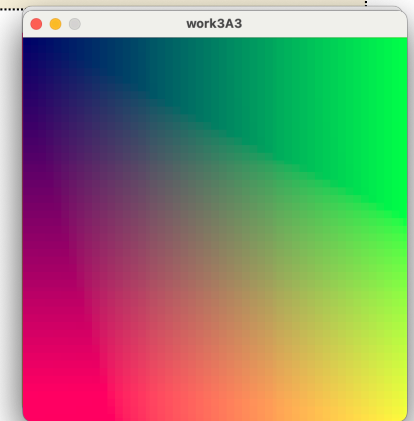


work2A3.pde

繰り返し文を使って、左のような色見本を作ってください。

RGBのうちBlueが固定（100）で、Redの値が左に行くほど強くなり、Greenの値が下に降りるほど強くなるようにしてください。

サイズや分割の幅などは自由とします。
（四角形の隙間をなくすと、グラデーションとなります →→）



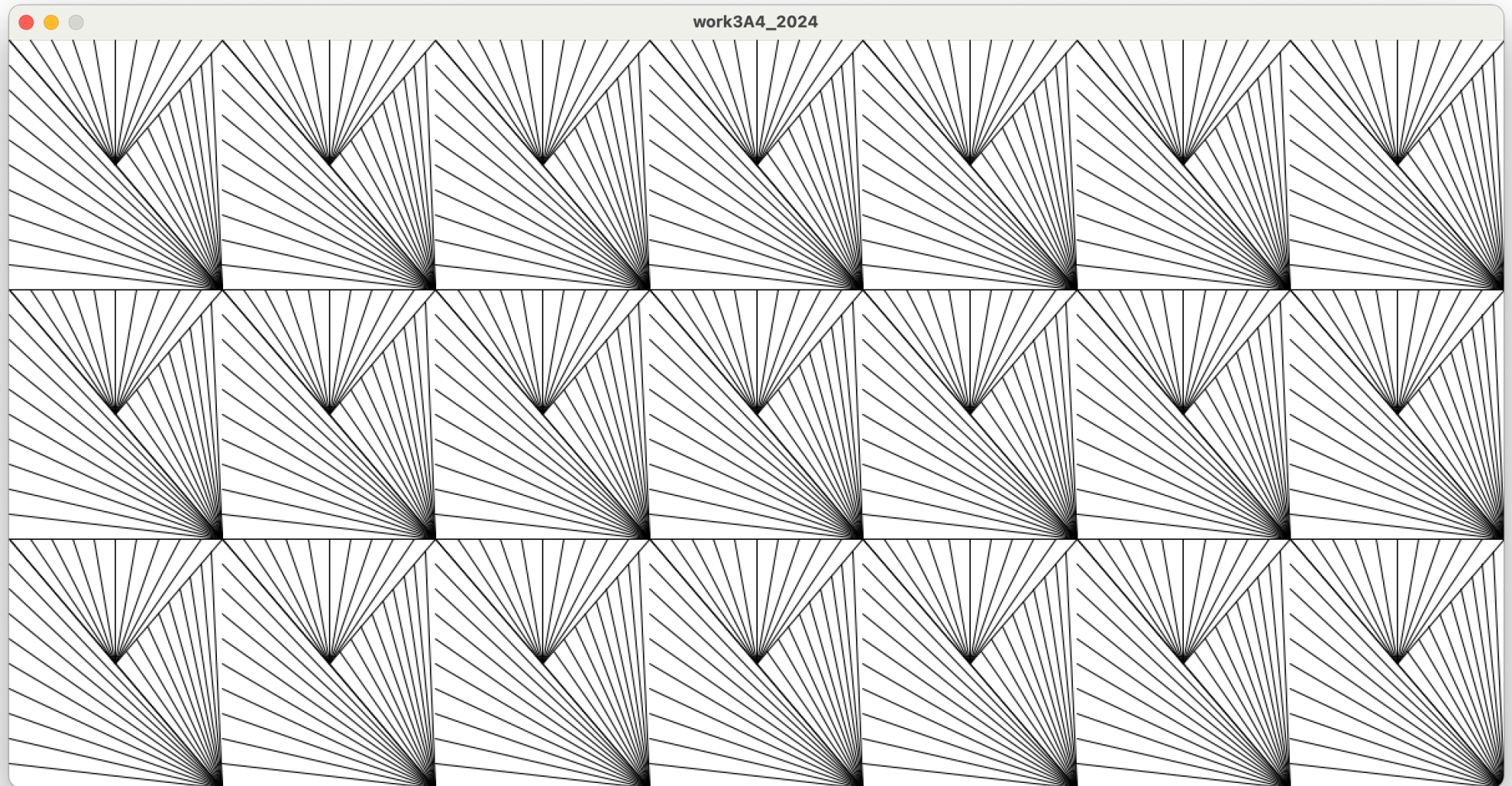
ヒント

for文の中にfor文を入れます（for文のネスト）。四角形の描画はrect(x,y,w,h)で実行する。この実行の前に、fill(red,green,blue)で色を決める。blueの値は固定とし、redとgreenの値を、四角形的位置に応じて、0から255を連続的に動くよう適切に決定する。

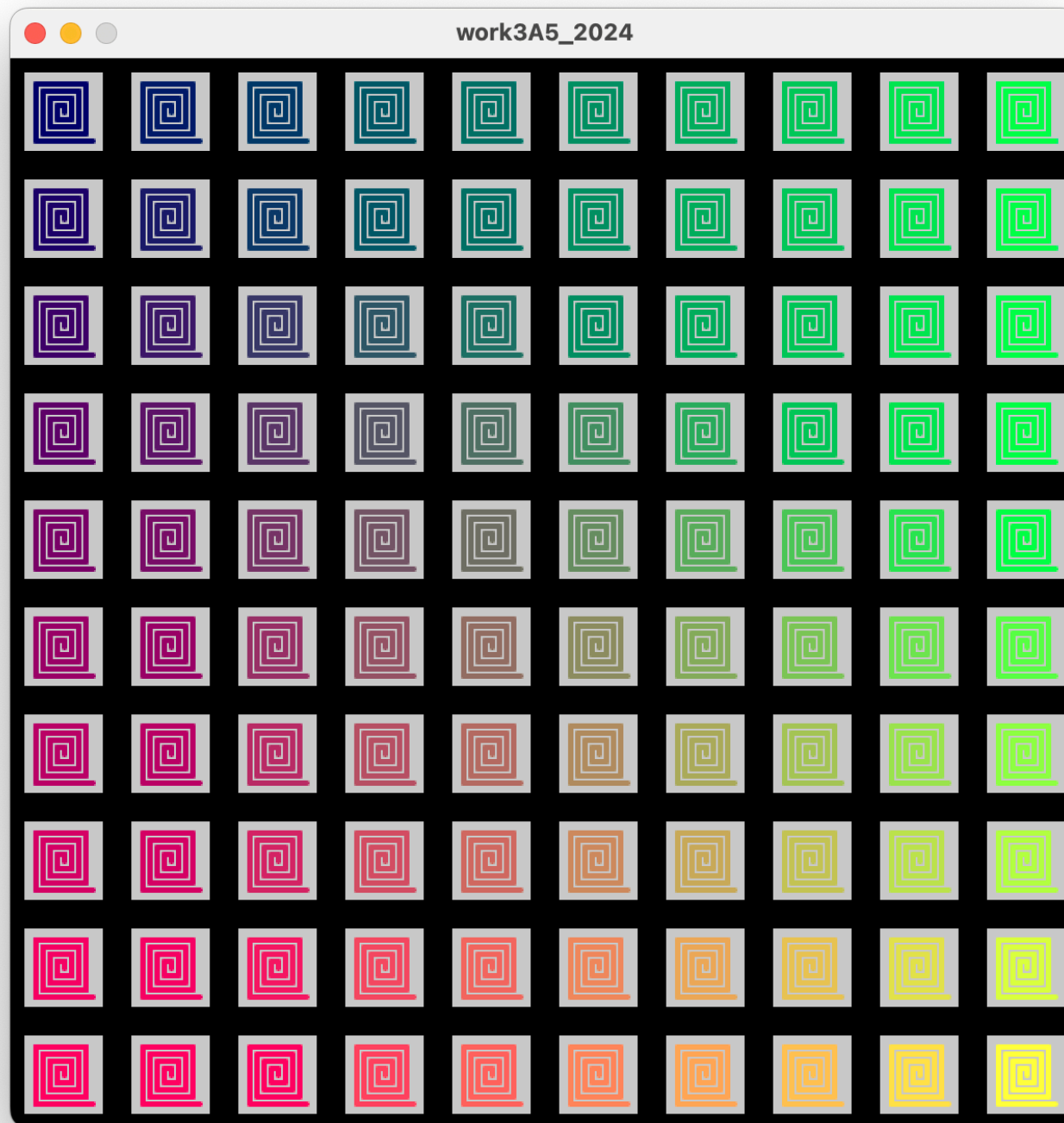
課題2A4 (やや難)

work2A4.pde

1200 x 600のウィンドウに、2A2のパターンが3 x 7で配列するようなプログラムを作成してください。
各辺は10等分で線が引かれているものとしします。



課題2A5 (やや難)

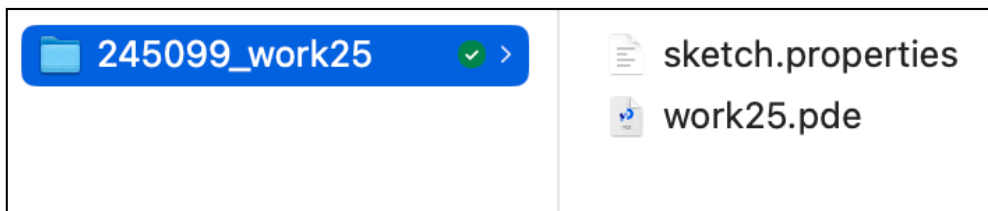
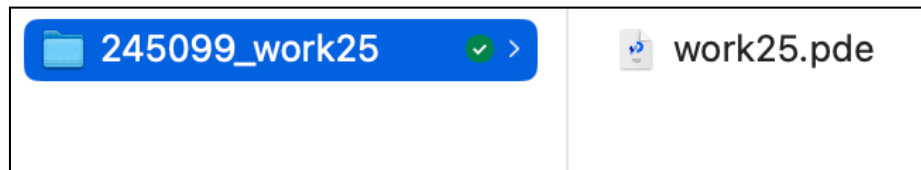
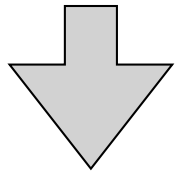
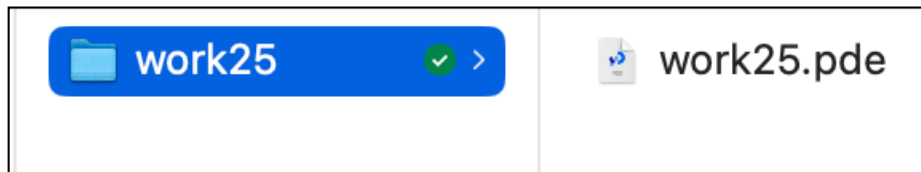


work2A5.pde

課題12の図像を
グリッド状
(10x10) に配置
したプログラムを
作成してくださ
い。線の色は、課
題3A3と同じとし
ます。

提出方法

フォルダ名のみを2450xx_work2Anと変更します。
（pdeファイルを開くと）同じ階層に設定
ファイルができますが気にしないで下さい。
（下図は、work25のときの例です。）



対応する課題のリンクから、フォルダを
まるごと提出してください。

[https://lab.kenrikodaka.com/
univclass/mediabasic2025/](https://lab.kenrikodaka.com/univclass/mediabasic2025/)

課題学習	[課題PDF]
	[YOUTUBE]
	[課題提出 WORK2A1]
	[課題提出 WORK2A2]
	[課題提出 WORK2A3]
	[課題提出 WORK2A4]
	[課題提出 WORK2A5]

提出方法

リクエスト時は、名前の先頭に学籍番号を入れるようにしてください。

kodaka kenri さんからのリクエストです
WORK25

▶  245099_work25

⊕ ファイルを追加

名前

245099_小鷹研理

メールアドレス

kenrikodaka@gmail.com

アップロード



ファイルは kodaka kenri さんの Dropbox に安全にアップロードされます。 [ファイル リクエスト](#)と Dropbox の[プライバシー ポリシー](#)についての詳細をご覧ください。